

令和7年度 南山幼稚園 自己評価

今年度の幼稚園評価では、初めてアプリを使った入力方式で回答を得ることにした。回答率は、98%となった。2学期終わりに他のアンケートへの回答もあり、保護者の方には、御多用の中協力していただき、感謝しております。自由記述欄は、例年に比べて多少減少傾向になったが、保護者の方、地域の方が様々な思いを寄せていただいたことに対しても深く感謝しております。

○幼稚園運営について

今年度は、本園の教育目標と園内研究主題として掲げる「自然とのかかわりで培う幼児の好奇心・探究心」について目指す方向性を一致させながら教育活動を進めてきた。日ごろの幼児の様子も合わせ「成長」という姿を会話による言葉だけではなく、映像やドキュメンテーションを活用することを伝えて伝えることが十分ではなかったことが反省としてあげられる。

地域との連携では、麻布十番商店街とこいのぼり、七夕飾り、地域（町会）とのかかわりでは、お祭り、もちつき、節分等、季節に応じたかかわりに参加できるようにした。教員も参加しながら楽しさ伝えるとともに、場内の整理や手伝いをする事で地域に貢献することができた。来年度も関係者と打ち合わせをすることで連絡を密にし、今年度の反省を活かし楽しい行事になるようにする。

未就園児へのアプローチでは、地域コーディネーターの尽力により、幼稚園をアピールするポスターを西麻布や南麻布、麻布十番の施設に範囲を広げ掲示していただくことができた。未就園児の会への参加人数が格段伸びてはいないことを受け、会の運営や内容について再度検討していく。

○教育内容について

どの項目も温かい評価をいただきましたが、5歳児学級での（12）「集団における決まりや道徳性の芽生えを身に付ける教育をしている」では、低い評価をいただいた。学級経営の中で何を大切にし、何を身に付けていくのか、そのための指導はどのようにしたらよいかについて、改めて見直している。合わせて（14）「小学校への就学を見通した教育内容として聞くこと、話すこと、友達とのかかわり等を大切にしている」では、日々これらの姿を意識し身に付けていくところまで見届けていく指導でなければならないことを園全体でとらえ進めていく。

○安心、安全、その他について

今年度、用務が専属になったことで、必要なときにすぐに対処できることが実現した。園庭環境の整備はもとより、校庭の芝生の維持に向け注意しながら生活をしていく。用務が職員の一員として幼児とのかかわりも増え、幼児が興味をもっている生き物や植物に対して大切にしていこうとする姿勢で日々、整備、清掃を行っている。

今年度、最後に行われた「ワンデートラベルデー」は、幼稚園評価には間に合わなかったが、参観された保護者の方からは、来年度にもつながるといい、英語の中で遊んでいる我が子が見られたというご意見を聞き、英語に触れる環境を改めて考え、楽しさやの中で気軽に使える英語を増やし親しんでいきたいと考えている。